

平成 26 年度事業ならびに活動計画

特定非営利活動法人 安全工学会

1. 事業活動方針

産業に係わる安全の諸問題を広く工学的に調査・研究し、各種災害の防止のための知識・技術の向上及び普及を図るため、以下の活動内容にて活動する。

「保安力向上センター」は保安力評価システムを普及させる為センター評価の推進、及び評価システムのプロセス拡充、保安力向上に関わる技術者の養成に注力する。

国際大会 WCOGI2014 の開催に向けて注力する。

維持・賛助会員の安全に資する活動を強化する。

2. 事業内容 特定非営利活動に係る事業

2.1 安全工学に関する研究・教育事業

①安全工学研究発表会

安全工学研究成果の発表会を主催する。

開催月日：平成 26 年 12 月 4,5 日

開催場所：(独) 産業技術総合研究所共用講堂

参加予定者： 250 名 (延べ)

②WCOGI2014

安全工学会主催 (共催：化学工学会、岡山大学) により開催。

開催月日：平成 26 年度 6 月 8 日 (日) ～11 日 (水)

開催場所：岡山コンベンションセンター

参加予定者：250 名 (延べ)

③英文論文誌

現在、論文は和文をベースとしているが、英文論文誌の発行の検討を開始する。

④研究・教育事業管理

対象委員会・研究会

学術委員会	2 回
-------	-----

安全工学研究発表実行委員会	2 回
---------------	-----

WCOGI 関連委員会	数回
-------------	----

(実行委員会、IPC 委員会、NOC 委員会)

医療安全研究会	6 回
---------	-----

廃棄物安全研究会	3 回
----------	-----

次世代安全研究会	4 回
----------	-----

2.2 安全工学に関する普及啓発事業

2.2.1 一般普及事業

(1) 会誌発行 “安全工学”

発行回数 年 6 回

(2) 講習会・セミナー

① 第 36 回安全工学セミナー

物質危険性講座 平成 26 年 9 月 9 日 (火)、10 日 (水)
危険現象講座 平成 26 年 10 月 15 日 (火)、16 日 (水)
プラント安全講座 平成 26 年 11 月 12 日 (水)、13 日 (木)
安全マネジメント講座 平成 27 年 1 月 14 日 (水)、15 日 (木)
実施予定場所 砂防会館会議室又は化学会館会議室
参加募集人員 各回 30 人

② 安全工学地域セミナー

開催月日 平成 27 年 1-3 月予定
実施予定場所 西日本地区 (詳細未定)
参加募集人員 30 人

③ 安全管理の最新動向講習会

開催月日 平成 26 年 4 月 22 日 (火)、23 日 (水)
実施予定場所 化学会館
参加人員 30 人募集

④ 安全工学実験講座

開催月日 1 回 平成 26 年 6 月 2 日 (月)、3 日 (火)
実施予定場所 日本カーリット (株)
参加募集人員 20 人

⑤ 災害事例研究会

開催月日 2 回、半日/回、平成 26 年 7 月開催予定
平成 26 年 12 月開催予定
実施予定場所 化学会館
参加予定人員 各回 35 人

⑥ 普及啓発事業管理

対象委員会・研究会等

編集委員会 12 回

普及委員会 4 回

(3) トップマネジメント安全懇談会 3～4 回

工場長による安全検討会を各地区で予定する。

(4) 図書販売・会誌の年間購読販売

法人事務所にて

2.2.2 普及啓発事業：保安力向上センター

我が国の現場力を高め、産業の安全性を向上させるためには、現場の技術基盤並びに安全文化の醸成が不可欠である。

そのため、保安力評価システムの改訂、保安力向上に係る技術者の養成並びに情報の収集・提供、普及啓発を行うことにより、事業者の保安力向上を図り、もって国民安全及び地域社会の健全な発展に貢献する。

(1) 保安力評価システムの普及

平成 25 年度に引き続き、会員企業に対するセンター評価の実施、ならびにセンター評価を希望する企業に対しての有償評価の実施。保安力評価システムの定期的ブラッシュアップと加工業など他プロセスにおける評価システムの拡充を図る。

(2) 保安力向上に係る技術者の養成

各種研修、自己評価、センター評価を通じ、保安力推進委員の力量向上を図る。自己評価員の養成、センター評価員の養成、保安技術者の育成支援を図る。

(3) 保安情報の共有化と啓発

センター評価の解析結果、参考事例の提供及び日化協、石化協など内外機関との連携を図る。

(4) その他

センターの会員増加に伴う要望の多様化等に迅速対応の為、センターの法人化を検討する。

2.2.3 普及啓発事業：受託事業

平成 25 年度の経済産業省継続事業である「平成 26 年度現場保安力維持向上基盤強化事業（現場保安力維持・向上に向けた調査・分析）」に対して社会貢献のため検討を行う。受託事業管理委員会にて管理する。

2.3 安全工学に関する調査研究及び情報収集提供事業

維持会員、賛助会員の安全に資する活動に注力する。

ホームページを充実させ、会員への情報提供を推進する。会誌の電子化情報の具体的提供方法について検討を行う。

2.4 安全工学研究の奨励及び研究活動等の表彰

- ・学会賞授与 安全工学に貢献した優秀論文、功労者を表彰

対象：安全工学論文賞（1-2 件）、北川学術賞（1-2 名）、玉置功労賞（1-2 名）、奨励賞（1-2 名）

2.5 安全工学に関連する国内外の団体との連携及び協力

安全工学に関連する学協会に加入し、情報を得ると共に安全工学の発展のために協業を模索する。国際的には、APASES（Asia Pacific Association of Safety Engineering Societies, アジア太平洋安全工学学協会連合）に参加。

①諸会費

(社) 日本工学会、高圧ガス保安協会などに会員として加入

②安全工学シンポジウム 2014 (第 44 回)

開催月日：平成 26 年 7 月 10 日 (木)、11 日 (金)

開催場所：建築会館

主 催：日本学術会議

幹事学会：日本建築学会

共 催：安全工学会ほか 32 学協会

2.6 管理業務

①総 会 1 回開催

開催月日：平成 26 年 5 月 27 日 (火)

開催場所：化学会館

②理事会 5 回開催

開催月日：平成 26 年 5 月 9 日 (金)

平成 26 年 5 月 27 日 (火)

平成 26 年 7 月

平成 26 年 11 月

平成 27 年 3 月

③評議員会 1 回開催

開催月日：平成 26 年 5 月 27 日 (火)

④監事会 1 回開催

開催月日：平成 26 年 5 月 2 日 (金)

⑤委員会

総務委員会 2 回開催

企画委員会 4 回開催

⑥現場研修会 2 回開催

開催日：平成 26 年 9 月予定、平成 27 年 3 月予定

会 場：未定

参加予定人員：安全工学会の会員 各回 30 名

(従来の見学会を、現場研修会として再構成する)

以上